

会 議 録

会議名称	令和 6 年度第 2 回大空町文化財保護審議会	
開催日時	令和 7 年 3 月 1 3 日（木）	1 4 時 0 0 分から 1 5 時 0 0 分まで
開催場所	女満別ゲートボールセンター I T ルーム	
出席者の氏名	岩原委員長、児玉副委員長、田中委員、山川委員、酒井委員、武田委員、 佐伯委員（欠席者 2 名：山田委員、河崎委員） 教育委員会：村山参事、歌丸主幹、河西主査	
傍聴者の数	—	
会議資料の名称	・女満別湿生植物群落について ・「大空町の碑」配付先及び配付部数	
審議内容及び結果	議案第 1 号 大空町郷土資料の廃棄について 前回委員会で廃棄の承認をいただいた郷土資料について、令和 6 年 8 月 2 7 日に 廃棄を行った。 → 質疑等なし。 議案第 2 号 女満別湿生植物群落保全対策の進捗及び今後の予定について 教育委員会より、議案書 P 1 および別紙資料「女満別湿生植物群落について」に沿って説明を行った。以下のとおり意見等があった。 【委員 A】 湿生植物群落の保護は、長年の課題だった。念入りな調査に基づいて方針を決定できたことに敬意を表する。その反面、多くの町民は湿生群落のことをよく知らず、観光資源であるミズバショウにばかり目が行きがちなので、報告会や講演会で周知を行っていくことが必要である。 【事務局】 この湿生群落にあるヤチダモなどの湿生林は学術的にも貴重なものだが、一般の方にはあまり注目されていない。その価値について、周知に努めていきたい。	

	議案第 3 号 郷土資料室の今後の展示・保管方法について 教育委員会より、議案書 P 1～3 に沿って説明を行った。 以下のとおり意見等があった。 【委員 B】 安易な廃棄は慎むべきだが、全く廃棄しないと負の遺産と化してしまう。廃棄基準を整備することが望ましい。 【委員 A】 昔は、寄贈の申し出があったものは何でも受け入れる風潮があった。このため、各家庭で廃棄予定の古い道具類が大量に郷土資料として保存されてしまった。保存している資料の価値について、改めて精査が必要。 【事務局】 廃棄基準を整備する。 議案第 3 号 大空町誕生 20 年記念「大空町の碑（第 2 版）」の発行について 教育委員会より、議案書 P 3 に沿って説明を行った。 以下のとおり意見等があった。 【委員 B】 これほど大量の碑を座標までつけて整理したのは、すごいと感じた。碑文がかすれて解読しづらいものがある場合は、解読しやすくする道具があるので、相談いただければ協力する。 【事務局】 そういう事例があれば、協力をお願いしたい。 【委員 C】 これに基づいて石碑ツアーを実施できれば面白いが、全ての石碑を回りきるのは大変である。 【事務局】 地区を変えて毎年シリーズ化することも検討する。 (15:00 終了)
--	---